



平成24年1月18日

第58回文化財防火デーの実施について

～ 育てよう 歴史を守る 防火の心 ～

平成23年度 東京消防庁文化財防火標語

1 趣旨

文化財防火デーは、昭和24年1月26日に法隆寺金堂壁画が火災により焼失したことを契機として定められたものです。

東京都内にも多数の貴重な文化財が現存し、これらは将来に継承すべき都民のかけがえのない財産であることから、この機会をとらえて、文化財の関係者及び文化財施設の周辺地域住民に対して火災、地震その他の災害等から文化財を守るための防火防災体制の充実強化を呼びかけるとともに、文化財に対する都民の防火意識の高揚を図ります。

2 文化財防火デー

平成24年1月26日（木）

3 当庁の推進期間

文化財防火デーを含むその前後

4 推進項目

(1) 文化財関係者に対する推進事項

- ア 放火火災予防対策の推進
- イ 火災、地震その他の災害等に対する自衛消防活動体制の充実強化等
- ウ 火気管理の徹底
- エ 消防用設備等の適正な維持管理及び災害発生時に必要な装備の充実
- オ 自動通報制度の普及促進

(2) 周辺地域住民に対する推進事項

文化財施設と近隣町会・自治会等とが連携した地域の協力体制づくりを促進する。

(3) 一般都民に対する推進事項

文化財施設に対する防火意識の高揚を図る。

(4) 児童、生徒等に対する推進事項

児童、生徒等に文化財の愛護意識及び火災等から文化財を守る重要性の啓発を図る。



東京消防庁
第58回文化財防火デーポスター

5 主な行事

(1) 消防演習

別紙1を参照してください。

(2) 各消防署における主な行事

別紙2を参照してください。

なお、取材を希望される社は、所轄消防署にお問合せください。

問合せ先

東京消防庁(代)	電話	3212-2111
広報課報道係	内線	2346~2350

大國魂神社で初の片消防演習を実施

1 日時

平成24年1月24日（火） 10時00分から10時40分まで

2 場所

大國魂神社（府中市宮町三丁目1番地）（別図1参照）

3 演習想定等

大國魂神社拝殿内において地震により火災が発生して参拝者等が怪我を負い、自衛消防隊による初期消火も効果がなく延焼拡大した。消防隊到着後、自衛消防隊が文化財を外に搬出し終わっていたが、災害時支援ボランティア等が負傷者を救護中であった。（別図2参照）

4 視察予定者

- | | | |
|----------------|-------|-------------|
| (1) 消防総監 | 北村 吉男 | (きたむら よしお) |
| (2) 総務省消防庁長官 | 久保 信保 | (くぼ のぶやす) |
| (3) 文化庁次長 | 河村 潤子 | (かわむら じゅんこ) |
| (4) 東京都教育庁教育長 | 大原 正行 | (おおはら まさゆき) |
| (5) 総務省消防庁予防課長 | 渡邊 洋己 | (わたなべ ひろき) |
| (6) 府中市長 | 野口 忠直 | (のぐち ただなお) |

5 統裁者等

- | | | | |
|---------|-----------|-------|------------|
| (1) 統裁者 | 府中消防署長 | 小川 一行 | (おがわ かずゆき) |
| (2) 指揮者 | 府中消防署警防課長 | 坂入 武雄 | (さかいり たけお) |

6 時系列

時間	経過
9時30分	報道関係事前説明
9時58分	演習開始報告
10時00分	演習開始（地震発生・火災発生）
10時12分	一斉放水（計 11口）（別図3参照）
10時13分	演習終了報告
10時16分	消防総監 講評
10時20分	来賓挨拶（消防庁長官、文化庁次長、府中市長）
10時35分	謝辞（大國魂神社宮司）
10時39分	演習終了
10時40分	文化財視察（来賓による宝物殿等の視察）

7 参加者

(1) 自衛消防隊		10名
(2) 災害時支援ボランティア		5名
(3) 府中市消防団	4隊	22名
(4) 消防隊（消防ヘリ含む。）	18隊	60名
(5) 府中女性防火の会		5名
	計	102名

※消防車両内訳	
指揮隊車	1台
ポンプ車	7台
はしご車	1台
救急車	1台
屈折放水塔	1台
消防ヘリ	1機
ドラゴン	1台
展示車両	5台
(スーパーポンパー他)	

8 取材にあたっての注意事項

取材中は自社腕章の着用をお願いします。

演習会場は、消防車両の通行や消防隊員が活動するため、係員の指示に従い事故防止に十分注意してください。

事前説明を9時30分から矢竹で実施します。（拝殿に向かって左側、本部テント正面）

駐車場はありませんので、ご了承ください。

取材を希望する社は、1月20日（金）16：00までに広報課報道係宛へ電話でご連絡ください（電話03-3212-2111 内線2345～9）

9 その他

大國魂神社の略歴は、次のとおりです。

大國魂神社は、大國魂大神（おおくにたまのおおかみ）をお祀りしており、創立は景行天皇41年（西暦111年）五月五日と言われ、大化の改新（西暦645年）のときに武蔵の国府を当地に置き、本神社が国内の祭務を総轄する所にあてられ、武蔵の国中の神社を一か所に集めお祀りし、これが武蔵総社の起源となった。

後に本殿の両側に国内著名の神、六所（小野大神・小河大神・氷川大神・秩父大神・金佐奈大神・杉山大神）を奉祀して六所宮とも呼ばれるようになった。

天正十八年（西暦1590年）には江戸に入城した徳川家康より社領五百石が寄進され、社殿及びその他の造営に心力をつくした。

正保三年（西暦1646年）類焼により社殿が焼失したが、寛文七年（西暦1667年）に4代将軍徳川家綱の命により社殿を造営し、現在に至っている。

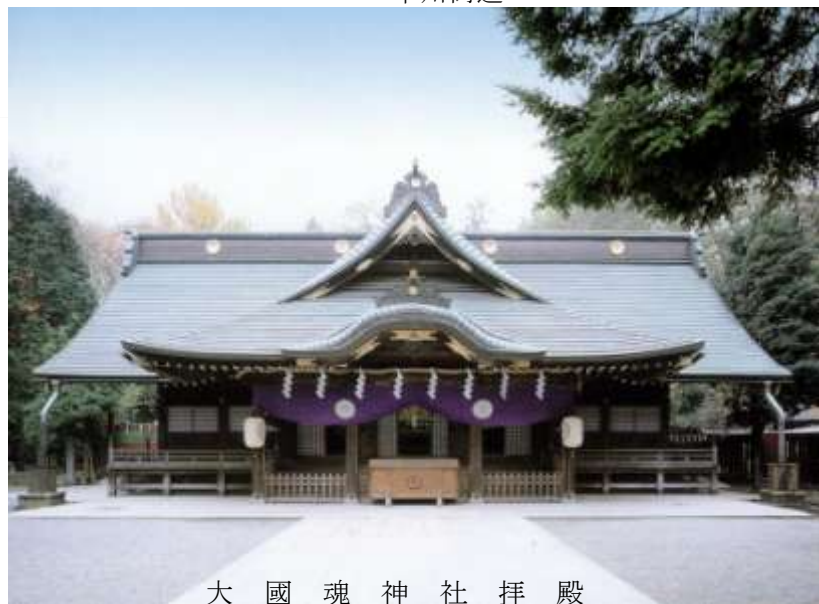
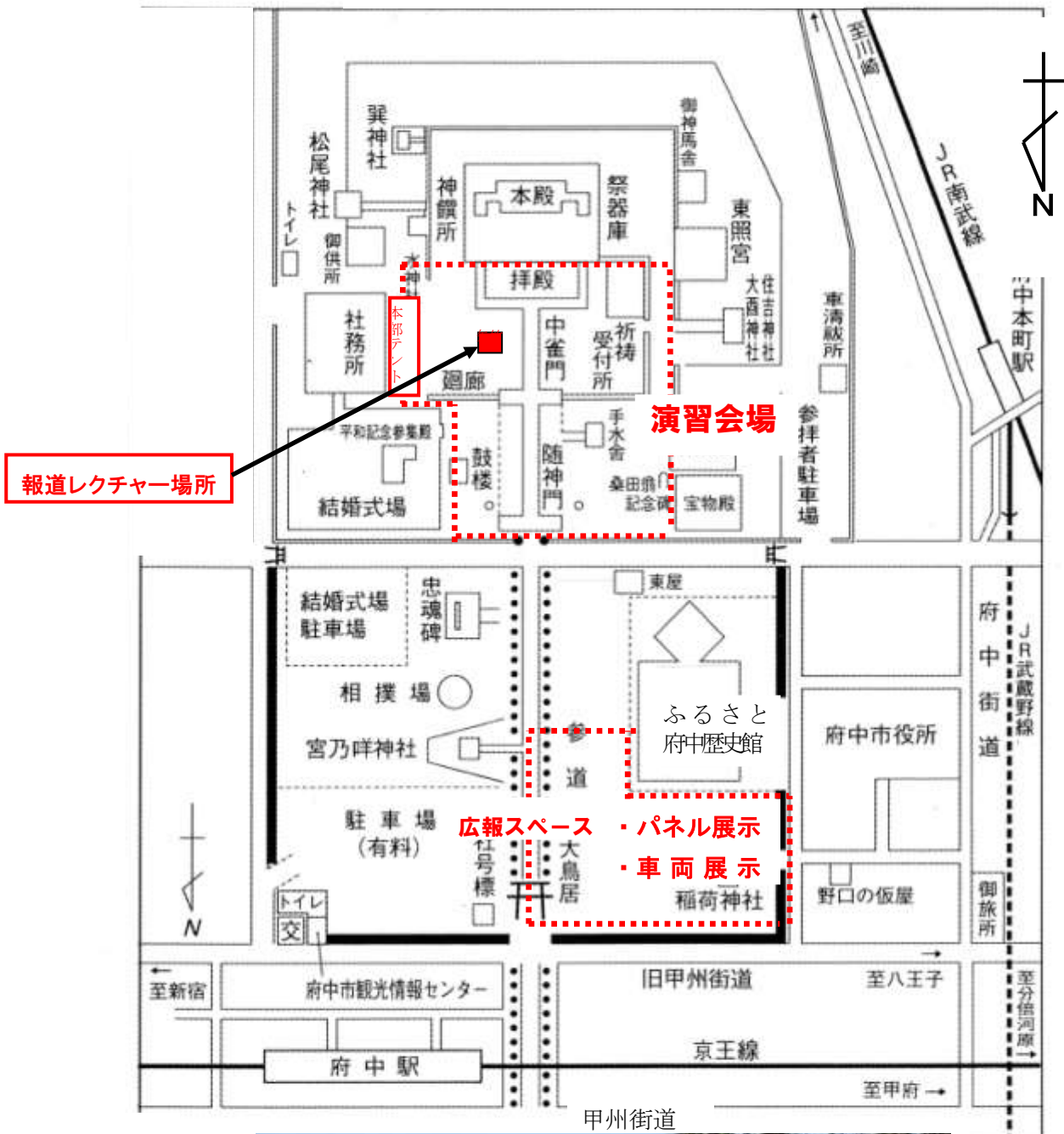
また、例年5月5日に行われる例大祭は「くらやみ祭」とも呼ばれ、関東三大奇祭のひとつに数えられ、平成22年3月には都指定無形民俗文化財に指定された。

平成23年、御鎮座1900年の記念の年にあたり、記念事業として同年4月に「随神門」が改築された。

【主な文化財等一覧】

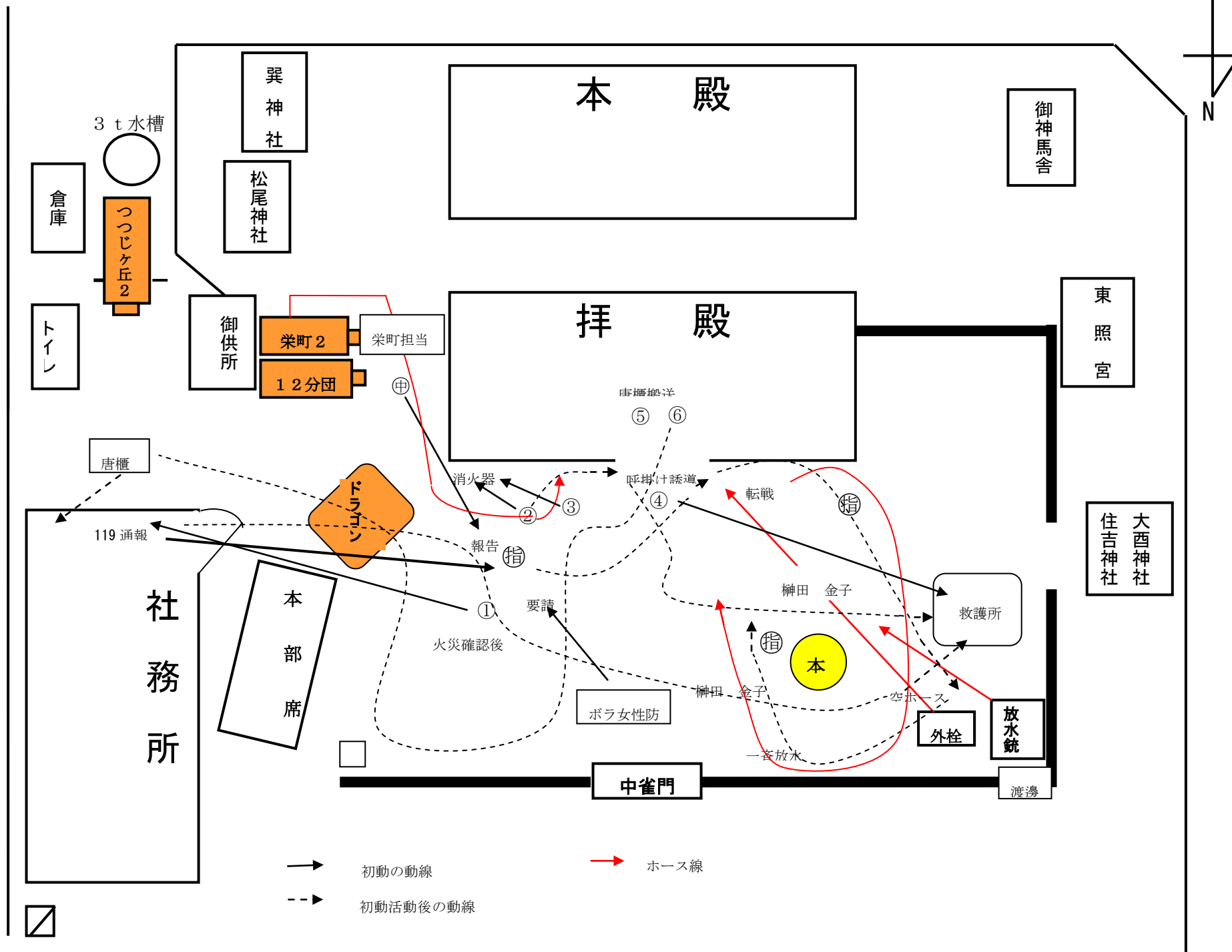
No.	名 称	文 化 財 類 別
1	木造狛犬（こまいぬ）	国指定・重要文化財
2	馬場大門のけやき並木	国指定・天然記念物
3	武蔵国府跡（大國魂神社周辺）	国指定・史跡
4	大國魂神社本殿	都指定・有形文化財（建造物）

大國魂神社付近図



大國魂神社 拝殿

自衛消防隊活動図



→ 初動の動線
 - - - 初動活動後の動線
 → (Red) ホース線

部署・一斉放水体形図

